



コールセンターからの小さなよみもの

2020年11月30日

Vol
142

資産形成のはじめの一步。 まずは「いくらにしたい！」という目標をたてましょう。

各種報道によると、新型コロナウイルスの感染拡大懸念から株式市場が急落した3月以降、とくに若年層を中心に証券口座を開設する動きが広がっているようです。ところが、資産形成を始めようと証券口座を開設したものの、始め方が分からずに結局何もしていないという方が少なくないようです。

また、足もとでは、NYダウ30種は史上初めて3万米ドルの大台に乗せ、日経平均株価は約29年ぶりの高水準となるなど、日米の株式市場の上昇が目立ちます*。株価上昇を目の当たりにしたことで、資産形成を始めることに二の足を踏まれている方もいるようです。

これまで、どのように資産形成を始めるかというお話をする機会はありませんでした。ですから今回は、あらためて「資産形成の始め方」についてお話したいと思います。

* 資料作成日時点





コールセンターからの小さなよみもの

資産形成を始める前に、まずすべきこと。

お金は、元本が大きいほど、期間が長いほど、そして利率が高いほど増えていきます。手元にあるお金で、できるだけ長い期間、より高いリターンが見込める投資信託を買い付ける。さあ、いくらになるかー。はたしてこれが資産形成なのでしょうか。

(図-1)お金を殖やす方程式

$$\text{目標額} = \text{元本} \times \text{期間} \times \text{利率}$$

上図(図-1)は、お金を殖やす方程式です。資産形成を始める前に、まず考えたいのは左辺、目標額です。たとえば、登ろうとする山の標高を知らずに、山頂に向けて歩き始める人はいないはずで、資産形成においても同じことがいえます。まずは自分がこれから登る山の高さ(=目標額)を明確にする(=自分で決める)ことが、資産形成の第一歩なのです。手元にあるお金を少しでも殖やそうと投資信託を買い付けるというのとは対極的な考え方です。

資産形成とは「結果いくらになったか」という結果論ではなく、「いくらにしたいのか」とはっきりと思い描いたうえで主体的に始めるべきものだと思うのです。





コールセンターからの小さなよみもの

お金には、2つのチカラが備わっている

「ワタシの目標額」を決めるときは、お金に備わる2つのチカラをよく理解してからがオススメです。

お金に備わる1つ目のチカラは、「耐久力」です。下図(図-2)は、年率0.01%で運用しながら、取り崩していく場合、毎月いくらずつ取り崩すことができるかを表したシミュレーションです。



(図-2)お金の耐久力ー毎月いくら取り崩せるか？

元本	10年	20年	25年	30年
1,000万円	8.3万円	4.2万円	3.3万円	2.8万円
2,000万円	16.7万円	8.3万円	6.7万円	5.6万円
3,000万円	25.0万円	12.5万円	10.0万円	8.3万円
5,000万円	41.7万円	20.9万円	16.7万円	13.9万円
7,000万円	58.4万円	29.2万円	23.4万円	19.5万円
10,000万円	83.4万円	41.7万円	33.4万円	27.8万円

●年率0.01%で運用しながら毎月取り崩す場合の月額取り崩し可能額。●資産運用に関する考え方を示すことを目的としたものであり、特定の商品の利回り等を保証・示唆するものではありません。税金・手数料等は考慮していません。

たとえば、1,000万円を20年かけて取り崩していこうとすると、毎月4.2万円ずつ使うことができるというふうになります。正直なところ、「1,000万円って、案外心もとないかも・・・」と感じませんか。

実は、お金に備わる1つ目のチカラである「耐久力」は、残念ながら低いのです。ですから、目標額はより高く設定した方が安心できそうだと理解しておきましょう。

■当資料は、日興アセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解および図表等は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。



コールセンターからの小さなよみもの

2つ目のチカラ、「増殖力」。

お金に備わる2つ目のチカラは、「増殖力」です。(図-3)

(図-3)お金の増殖力—どんな条件でどのように増えそうか？

元本	年利回り	期 間		
		5年	10年	20年
100万円	0.01%	100.05万円	100.10万円	100.20万円
	4%	122万円	149万円	222万円
	8%	149万円	222万円	493万円

●計算は1か月複利計算で、税金・手数料等は考慮していません。●資産運用に関する考え方を示すことを目的としたものであり、特定の商品の利回り等を保証・示唆するものではありません。

たとえば、年率0.01%では、20年後であってもお金はほとんど殖えません。ところが、仮に年率4%で運用できたとしたら、20年後には2倍以上になっています。当たり前ですが、年率8%であれば、半分の期間で倍です。つまり、期間と利回りという2つのスイッチを切り替えると、思った以上に増殖するチカラがお金にはあるのです。というわけで、お金には「増殖力」という、うれしいチカラも備わっているということをおさえてみましょう。

まず、いくらにしたいのかという「ワシの目標額」を明確にすること。そのときに「耐久力」と「増殖力」という2つのチカラを思い出し、なるべく高い目標を設定する。これが、資産形成において大切な、はじめの一步なのです。

nikko am

2 コールセンター
0120-25-1404
営業時間 平日 9:00~17:00

